

事前伺い

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

帯広畜産大学大学院 研究科の専攻の設置

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 帯広畜産大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 オダ ケンイチ
小田 賢一

電話番号 0155-49-5301

（夜間） 0155-49-5301

F A X 0155-49-5229

e-mail kikakuka@obihiro.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	・・・	1
	（1）設置者	・・・	1
	（2）大学名	・・・	1
	（3）大学の位置	・・・	1
	（4）調査対象学部等の名称、定員、 入学者の状況等	・・・	2
2	授業科目の概要	・・・	4
	・ 畜産生命科学専攻	・・・	4
	・ 食品科学専攻	・・・	7
	・ 資源環境農学専攻	・・・	10
3	既設大学等の状況	・・・	13
4	教員組織の状況	・・・	14
5	その他全般的事項	・・・	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 帯広畜産大学

(2) 大学名

帯広畜産大学

(3) 大学の位置

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
畜産学研究科	年	人	人	畜産学部
畜産生命科学専攻	2	18	36	
食品科学専攻	2	10	20	
資源環境農学専攻	2	13	26	
修士(農学)				

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	()人	()人	()人	0.92倍	
志願者数	()	()	(2)		
受験者数	()	()	(2)		
合格者数	()	()	(1)		
B 入学者数	()	()	(1)		
入学定員超過率 B/A	()	()	()		
			0.92		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[]	[]	[8] 38	
2年次	[]	[]	[-] -	
計	[]	[]	[8] 38	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	%
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	%
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [-] 0	計 [-] 38	[-] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	0 %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 38人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<畜産学研究科 畜産生命科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻コア科目	特別研究Ⅰ	1	4			7	11				
	特別研究Ⅱ	2	4			7	11				
	家畜生産学特論	1	2			5	6		4		
	生態学特論	1	2			2	5		3		
	畜産生命科学特別演習	1	4			7	11		7		
	特別研究特論	1	2			7	11		7		
修科Ⅰ家畜生産学選択必修科目	家畜育種学特論	1		2		1			1		
	家畜管理学特論	1		2		1	1		1		
	家畜栄養学特論	1		2			3				
	家畜繁殖学特論	1		2		1	1				
	家畜生体機能学特論	1		2		2	1				
科選学環境必択コ一生態修ス	環境生命科学特論	1		2		2	5				
	生態システム生命科学特論	1		2		2	1				
	保全生態リスク管理学特論	1		2			4				
必修英語科目	English Communication for Science I	1		2			1	1	1		
	English Communication for Science II	1		2			1	1	1		
	English Communication for Science III	1		2			1	1	1		
科ストアトド専門	畜産科学特論Ⅰ	1		2		1					
	畜産科学特論Ⅱ	1		2		1					
	畜産科学特論Ⅲ	1		2		1					
他専攻科目	農産物加工学特論	1		2							兼2
	食品栄養学特論	1		2							兼2
	畜産物利用学特論	1		2							兼3
	食品生物科学特論	1		2							兼2
	食品化学特論	1		2							兼2
	食品分子生物学特論	1		2							兼3
	作物ゲノム育種学特論	1		2							兼3
	植物生産制御学特論	1		2							兼4
	草地牧畜学特論	1		2							兼4
	農業機械システム工学特論	1		2							兼3
	農業農村工学特論	1		2							兼2
	大気地盤情報学特論	1		2							兼2
	畜産経営学特論	1		2							兼2
	農業政策学特論	1		2							兼1
	応用農業統計学特論	1		2							兼1
	疫学と経済	1		2							兼2
	家畜生産衛生学	1		2							兼6
	乳肉生産衛生学	1		2							兼2
	食品衛生経済学	1		2							兼2
	循環型畜産科学	1		2							兼2
動物福祉論	1		2							兼2	

共通 教養 科目	科学と人間	1		2						兼1
	環境法制度論	1		2						兼1
	教育学特論	1		2						兼1
	環境と行動	1		2						兼1
	生物環境モデル論	1		2						兼1
	歴史と生命	1		2						兼1
	体育と健康	1		2						兼2
	「北海道文学」論	1		2						兼1
	西洋環境文化論	1		2						兼2
科目 共通	インターンシップ演習	1		1		2				

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 45	科目 0	科目 51	科目 6 [-]	科目 45 [-]	科目 0 [-]	科目 51 [-]	

- (注) ・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3		該当なし				

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3		該当なし				

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<畜産学研究科 食品科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻コア科目	特別研究Ⅰ	1	4			4	8				
	特別研究Ⅱ	2	4			4	8				
	食品加工・利用学特論	1	2			1	5		1		
	食品機能科学特論	1	2			3	3		2		
	特別研究特論	1	2			4	8		3		
	食品加工・利用学特別演習	1		4		1	5		1		
	食品機能科学特別演習	1		4		3	3		2		
科選学工食 目択コ・品 必利加 修ス用	農産物加工学特論	1		2			2				
	食品栄養学特論	1		2		1			1		
	畜産物利用学特論	1		2			3				
修ス科食 科選学品 目択コ機 必利能	食品生物科学特論	1		2		1	1				
	食品化学特論	1		2		1	1		1		
	食品分子生物学特論	1		2		1	1		1		
必英 修語 科選 目択	English Communication for Science I	1		2			1				
	English Communication for Science II	1		2			1				
	English Communication for Science III	1		2			1				
科スア 目トド 専パ 門ン	畜産科学特論Ⅰ	1		2		1					
	畜産科学特論Ⅱ	1		2		1					
	畜産科学特論Ⅲ	1		2		1					
他専攻科目	家畜育種学特論	1		2							兼2
	家畜管理学特論	1		2							兼3
	家畜栄養学特論	1		2							兼3
	家畜繁殖学特論	1		2							兼2
	家畜生体機能学特論	1		2							兼4
	環境生命科学特論	1		2							兼7
	生態システム生命科学特論	1		2							兼5
	保全生態リスク管理学特論	1		2							兼4
	作物育種ゲノム学特論	1		2							兼3
	植物生産制御学特論	1		2							兼4
	草地牧畜学特論	1		2							兼4
	農業機械システム工学特論	1		2							兼3
	農業農村工学特論	1		2							兼2
	大気地盤情報学特論	1		2							兼2
	畜産経営学特論	1		2							兼2
	農業政策学特論	1		2							兼1
	応用農業統計学特論	1		2							兼1
	疫学と経済	1		2							兼2
	家畜生産衛生学	1		2							兼6
	乳肉生産衛生学	1		2							兼2
食品衛生経済学	1		2							兼2	
循環型畜産科学	1		2							兼2	
動物福祉論	1		2							兼2	

共通教養科目	科学と人間	1		2						兼1
	環境法制度論	1		2						兼1
	教育学特論	1		2						兼1
	環境と行動	1		2						兼1
	生物環境モデル論	1		2						兼1
	歴史と生命	1		2						兼1
	体育と健康	1		2						兼2
	「北海道文学」論	1		2						兼1
	西洋環境文化論	1		2						兼2
科共通	インターンシップ演習	1		1		2				

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	47	0	52	5	47	0	52	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<畜産学研究科 資源環境農学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻コア科目	特別研究Ⅰ	1	4			10	11	1			
	特別研究Ⅱ	2	4			10	11	1			
	資源環境学特論	1	2			5	6		1		
	地域環境学特論	1	2			5	5	1	2		
	特別研究特論	1	2			10	11	1	3		
	環境植物学特別演習	1		4		5	6		1		
	農業環境工学特別演習	1		4		2	4	1			
	農業経済学特別演習	1		4		3	1		2		
科選学環 目扱コ植 必―修ス物	作物ゲノム育種学特論	1		2		2	1				
	植物生産制御学特論	1		2		1	3				
	草地牧畜学特論	1		2		2	2				
修ス工農 科選学業 目扱コ環 必―修境	農業機械システム工学特論	1		2			2	1			
	農業農村工学特論	1		2			2				
	大気地盤情報学特論	1		2		2					
科選学農 目扱コ業 必―修経 修ス済	畜産経営学特論	1		2		1	1				
	農業政策学特論	1		2		1					
	応用農業統計学特論	1		2		1					
必英 修語 科選 目扱	English Communication for Science I	1		2			1	1	1		
	English Communication for Science II	1		2			1	1	1		
	English Communication for Science III	1		2			1	1	1		
科スア 目トド 専ハ 門ン	畜産科学特論Ⅰ	1		2		1					
	畜産科学特論Ⅱ	1		2		1					
	畜産科学特論Ⅲ	1		2		1					
他専攻科目	家畜育種学特論	1		2							兼2
	家畜管理学特論	1		2							兼3
	家畜栄養学特論	1		2							兼3
	家畜繁殖学特論	1		2							兼2
	家畜生体機能学特論	1		2							兼3
	環境生命科学特論	1		2							兼7
	生態システム生命科学特論	1		2							兼5
	保全生態リスク管理学特論	1		2							兼4
	農産物加工学特論	1		2							兼2
	食品栄養学特論	1		2							兼2
	畜産物利用学特論	1		2							兼3
	食品生物学特論	1		2							兼2
	食品化学特論	1		2							兼2
	食品分子生物学特論	1		2							兼3
	疫学と経済	1		2							兼2
	家畜生産衛生学	1		2							兼6
	乳肉生産衛生学	1		2							兼2
	食品衛生経済学	1		2							兼2
	循環型畜産科学	1		2							兼2
動物福祉論	1		2							兼2	

共通教養科目	科学と人間	1		2						兼1
	環境法制度論	1		2						兼1
	教育学特論	1		2						兼1
	環境と行動	1		2						兼1
	生物環境モデル論	1		2						兼1
	歴史と生命	1		2						兼1
	体育と健康	1		2						兼2
	「北海道文学」論	1		2						兼1
	西洋環境文化論	1		2						兼2
科共通	インターンシップ演習	1		1		2				

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	48	0	53	5	48	0	53	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3		該当なし				

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3		該当なし				

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	帯広畜産大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
畜産学部									
獣医学科	6	—	—	—	学士（獣医学）	—	S24	北海道帯広市稲田町西2線11番地	平成20年度より学生募集停止
獣医学課程	6	40	—	120	学士（獣医学）	1.02	H20		
畜産科学科	4	—	—	—	学士（農学）	—	H14		平成20年度より学生募集停止
畜産学課程	4	210	10	640	学士（農学）	1.02	H20		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<畜産学研究科 畜産生命科学専攻、食品科学専攻、資源環境農学専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
50	8	58	0	50	6	56	0	
(50)	(6)	(56)	(0)	[0]	[Δ2]	[Δ2]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

＜畜産学研究科 畜産生命科学専攻、食品科学専攻、資源環境農学専攻＞

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (未 定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。